

第3学年2組 図画工作科学習指導案

平成30年10月30日(火)

第3学年2組 男子10名 女子12名 計22名

第3学年2組教室

高橋 直美

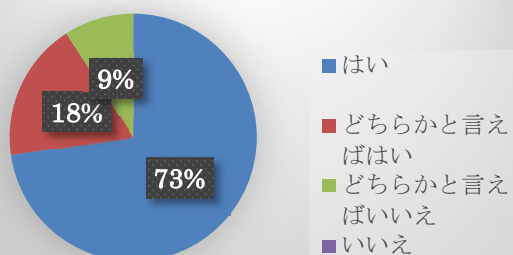
1 題材名 長〜い紙 ザ ワールド

2 題材について

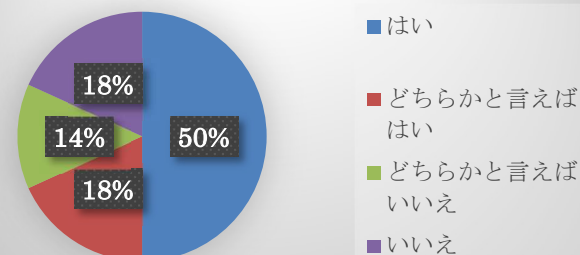
(1) 児童の実態

本学級の児童は、図工の時間を楽しみにしており、誰もが笑顔で楽しく取り組む姿が見られる。様々な活動を通して、自分の表現したいことがはっきりしてきたり、新しいアイデアを見つけたりする様子が見られる。また、図画工作のアンケートからも分かるように、自分の作品のよさを見つけることはできても、それを友達に伝えたり、友達の作品のよさを取り入れることについて積極的に考えている児童は少ない。個別に聞くと答える力は見られるので、これをさらに広げ、自由に意見を述べられる雰囲気作りに努めたり、自分の作品について語る時間を設けたり、友達のよさを取り入れることで新たな発想の広がりがあることを意識させながら、感じたよさや楽しさ等について言葉で伝えていく力を育成していきたい。

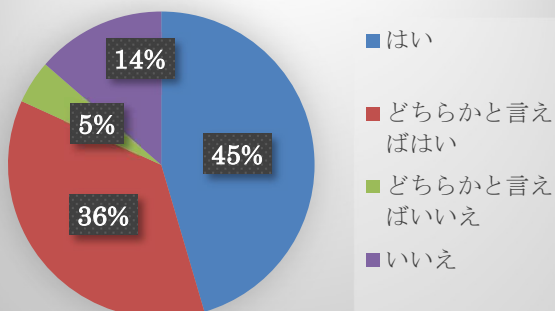
図工は好きですか



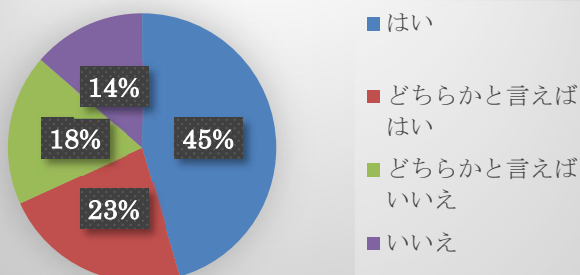
アイデアがうかびますか



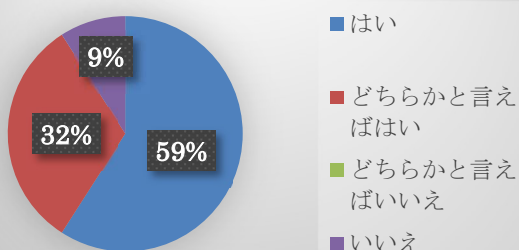
自分の作品のよさを見つけられますか



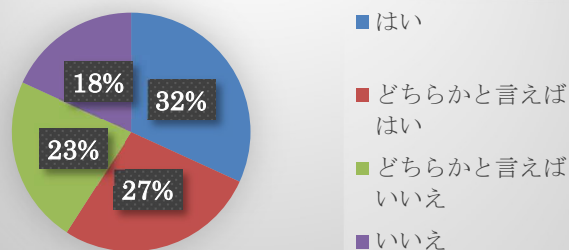
自分の作品のよさを友達に伝えることはできますか



友達の作品のよさを見つけられますか



友達のよさを自分の作品に取り入れることがありますか



(2) 本題材を指導するに当たって

本題材では、身近な新聞紙や広告紙という材料をもとに造形遊びをする。古新聞でつくる細長い紙の特徴を生かしながら、紙の切り方やつなぎ方を試したり、見つけたりしながらたくさんの細長い紙で楽しく遊ぶ活動である。そこで細長く切った紙をブラックボックスから出して見せ、自分たちもつくってみたい、やってみたいという意欲付けをする。それらを通して、工夫すること、また、友達と一緒に、材料や場所に働きかけ、楽しみながら活動し、空間のよさにこだわりながら自分らしい造形的な表現と発見をさせることをねらいとしている。いろいろな切り方で細長い紙をたくさんつくり、それらの長さや量、触り心地やにおいなど五感を働かせながら発想を広げ、思いついた活動の楽しさを味わわせたい。また、「鑑賞タイム」を設けることで、互いの表現を見合い、友だちの表現に対して思ったことや感じたことを自分の言葉で伝え合わせたい。さらに、最後に自分たちの活動の場の変化を写真でふり返ることで、活動の楽しさや充実感を味わわせる。

3 学習指導要領上の位置づけ

A 表現ー (1) ア・・・造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。

(2) ア・・・造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、組み合わせたり、切ってつないだり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくること。

B 鑑賞ー (1) 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、制作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕

ア 自分の感覚や行為を通して、色や形などの感じが分かること。

イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

4 目標及び評価規準

(1) 目標

「身近な場所で、紙の切り方やつなぎ方を試したり、見つけたりする」ことを通して、試したり、見つけたり、考えたりして、思いつく力を培う。

(2) 評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして遊ぶことを楽しむ。	細長い紙の量や感触、空間の特徴などから活動を思いつく。	切る、つなげるなど、思いに合わせて用具を活用する。	自分や友だちの活動のよさやおもしろさに気づき、認め合う。

5 指導と評価の計画（全2時間扱い）

時間	学習内容	評価の観点					
		関	発	創	鑑	評価規準	評価方法
1	1. 細長い紙を使って表現活動をする。	○				・ 自分なりの方法で細長い紙をたくさんつくり、その特徴を生かして楽しく遊ぼうとしている。	行動観察・ 発言
2	2. 自分の思いに合わせて、長い紙を使って様々な活動を楽しむ。		◎			・ 長い紙をたくさん集めたときの量や感触、また、空間の特徴などから活動を思いついている。 ・ 切る、つなげるなどの思	発言・ 行動観察 行動観察・

						いに合わせて、用具を活用している。	作品分析
	3. 友だちの表現を鑑賞し、活動の様子をふり返る。				◎	・自分や友だちの活動の共通点や違いを見つけたり、よさや面白さを認め合ったりしている。	発言・行動観察

6 本時の学習（本時 2 / 2 時間）

（1）目標

- 長い紙をつないだり、貼り付けたりする活動を通して、思いついたことを自由に表現する楽しさを味わう造形活動をすることができる。

（2）準備

- 教師：古新聞紙、広告紙、細長く切った新聞紙、ブラックボックス、セロハンテープ、養生テープ、脚立、ロープ、タブレット、テレビ
- 児童：教科書、はさみ、古新聞紙、広告紙、包装紙、セロハンテープ

（3）展開

過程 時間	学習活動	指導上の留意点 （〔共〕：〔共通事項〕に係る内容）	評価と手立て 観点：評価規準〔評価方法等〕 ◎：十分満足できる状況 ◆：C 判定児童への手立て
導入 5 分	提案 1 切った紙をつなげて、たのしい活動をしてみよう。 1. 教師の提案を聞き、本時のおよその見通しをもつ。		
展開 20 分	2. つなげ方を工夫したり場所を生かしたりして活動する。	○実際に新聞紙や広告紙の紙を身体に巻き付けたりするなどして見せ、子どもが活動したくなるように意欲付けをする。 ○長い紙が飾ってある様子の写真を見せ、「長い紙 ザ ワールド」のイメージを掴ませる。	- 発 長い紙をたくさん集めたときの量や感触、教室の特徴などから活動を思いついている。（発言・行動観察） ◎長い紙や教室の特徴を生かし、積極的に表現活動をしている。 ◆活動に消極的な児童には、友だちと協力しながら活動するように声かけすることで、発想を広げ、友だちのよさにも気づくようにする。

		○それぞれの場所で<u>自分が細長い紙から感じた形や色などを基に、イメージを広げていけるように、児童との対話を通して、こだわっている表現を見つけ出してその思いを広げていけるように言葉かけをする。</u> [共] ○子どもたちの活動の様子をデジタルカメラで記録し、変化していく様子がわかるようにする。	
整理 20分	提案2 友だちがどんな活動をしたのか、見せてもらおう。		
	3. 友だちの活動のよさに気づく。	○時間を決めて、友だちの活動にも目を向けるように「鑑賞タイム」を設ける。 ○活動の始めと終わりを写真にて振り返ることにより、自分や友だちの活動に改めて目を向け、互いの活動のよさを認め合えるようにする。 ○片付けを協力してやるように呼びかけ、まとめた新聞紙はビニール袋に入れさせる。	鑑互いの活動のよさを認め合っている。(発言・行動観察) ◎友だちの表現に対して思ったことや感じたことを自分の言葉で伝え、互いに楽しく活動できたことを共有できている。 ◆友だちの表現を見たときに、どのような気持ちだったのかを想像させ、言葉に表すように導く。

(4) 板書計画

